



校長室の窓から

《校長だより》

神奈川県立市ケ尾高等学校

校長 増淵 広美

平成30年1月29日

第38号

「目標」に向かう強い思いを原動力に！ ～最後まで加速度的に伸び続けるのが現役生の強み～

1月も早くも最終週、皆さんは日々着実に一步一步を重ねていることと思います。3年生の皆さんにとっては、1月19日(土)、20日(日)の大学入試センター試験を終え、いよいよ一般入試のシーズン到来です。

全国における今年のセンター試験の志願者数は57万6830人(昨年比5841人減)、そのうちの80.6%(46万4950人)が現役生です。本校では9割を超える367人(昨年比7人増)が出願しました。中には推薦ですでに進学先が決まっても、高校生としての自分の学力を把握したり学習へのモチベーションを保ったりという理由から受験勉強を続け、当日に臨んだ生徒もいます。センター試験を入試に利用する大学・短大は年々増え、今年は昨年より4校増えて過去最多の852校。過去にはセンター試験当日が大雪に見舞われたこともあり、毎年天候が気になります。今年は、センター試験2日目が、一年で最も寒いと言われる「大寒」に当たりましたが、お天気にも恵まれ、安堵しています。

1月21日(月)にセンターリサーチを終え、国公立大学志望の皆さんは、個別学力検査(二次試験)の出願に向けて余念のないことと思います。3年の担任も、キャリア支援グループの担当者を中心に放課後遅くまで残り、全国のデータをもとに国公立大学の動向を探り、より充実した進路指導・支援ができるよう研究に努めています。

最後の最後まで加速度的に伸び続けるのが現役生の強み！「目標」(第一志望)に向かう強い思いはその原動力です。大切なことは「今」に集中して日々全力を尽くすこと。結果は後から付いてきます。しっかりと体調を管理し、ベストコンディションで本番に臨んでください。

また、2年生の中には、センター試験と同日開催の模試に挑戦したり、新聞等に掲載された試験問題を実際に解いてみたりした人も少なくない聞いています。2年生にとっての3学期は「3年0(ゼロ)学期」。1年後の受験に向けてモチベーションが高まったのではないのでしょうか。ぜひ先輩の後に続いてください。



今年の冬花壇のテーマは「Harmony」。寒い中での水やり、PTA環境委員の皆様にご心より感謝申し上げます。

新たな時代、新たな社会をどう生きるか ～若宮正子さんに学ぶ～

今年は、4月1日に新たな元号が公表され、5月1日には、新たな元号による新たな時代を迎えます。

一方、これから皆さんが生きていく社会は、「Society(ソサエティ) 1.0」と言われる狩猟社会から、農耕社会(Society 2.0)、工業社会(Society 3.0)、情報社会(Society 4.0)に続く新たな社会「Society(ソサエティ) 5.0」と言われています。それは、IoT(Internet of Things)で全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、今までにない新たな価値を生み出すことで、これまで抱えてきた社会の課題や困難が克服される社会、つまり、社会の変革(イノベーション)を通じて、希望の持てる社会、世代を超えて互いに尊重し合える社会、一人ひとりが快適で活躍できる社会を目指そうとするものです。

そんな社会を見通して、83歳というご高齢ながら生き生きと活躍されているのが、私たちと同じ神奈川に住む「世界のマーチャン」こと若宮正子さんです。

◆「私は、創造的でありたい」～若宮正子さんが本校にて講演～

若宮さんが昨年12月19日(水)に本校で講演して下さったことは、2学期の終業式や前号の「校長室の窓から」でも紹介したところです。当日は、職員対象の校内研修でしたが、「世界のマーチャンがやって来る」ということで、生徒や保護者の皆さんにも案内したところ、生徒2人のほか、保護者の方約20人が参加して下さいました。

今回は、その講演のテーマの一つである「私は、創造的でありたい」の中で若宮さんが話して下さったことを通して、「創造的に生きる」ということについて皆さんとともに考えてみたいと思います。



講演の様子。笑顔で話す若宮さん。

——「ないなら自分で作ろう」という思いから生まれた「エクセルアート」と「hinadan(ひな壇)」——

2学期の終業式では、野村克也さんの講演「凡人の強み」から、謙虚であることの大切さや謙虚であるがゆえの徹底した努力について話しましたが、若宮さんは、あの野村克也さんと同じ1935年(昭和10年)生まれの83歳。高校を卒業後、大手銀行に勤め、定年退職後、お母様の介護でなかなか外出ができないことからパソコンを独学で学び、パソコンを介して世界を大きく広げました。

皆さんも「情報」の授業で使ったことがある表計算ソフトの「Excel」、若宮さんは、あの「Excel」の「セルの塗りつぶし」や「罫線」を使って「アート」作品を作る「エクセルアート」の創始者です。表計算ソフトは数字ばかりで面白い教材がない、「だったら自分で作ろう」という思いからシニアの女性向け「美しい入門編」として創案。刺繍的な画面が印象的で、Excelの機能だけで日本の伝統的な文様をはじめ美しいグラフィックが描かれていることに驚きます。

ぜひインターネットで「Excel Art Museum (エクセルアート・ミュージアム)」を閲覧してみてください。そこには、日ごろ見慣れた「Excel」とは全く違う世界が広がっています。

また、若宮さんは、2014年に79歳でTEDxTokyoで講演。ご自身を「ICTの伝道師」と称し、60歳でのパソコンとの出会いからパソコンを通じた世界の広がり、自ら開発したエクセルアートなどをユーモアたっぷり、大きな身振り手振りで生き生きと紹介し、スタンディング・オベーションの大喝采を受けました。その様子はYouTubeで見ることができます。ぜひ視聴してみてください。感動とともにたくさんの勇気と元気をいただくことができます。

さらに、81歳でプログラミングを学び始め、2017年にリリースしたiPhoneのゲームアプリ「hinadan」が大ブレイク、一躍世界中から注目されるようになりました。Apple社の世界開発者会議(WWDC)にも特別招待され、CEOのティム・クック氏とも対談。当時82歳の若宮さんは、「最年長のゲームアプリ開発者」として紹介されました。「hinadan」もまた、シニアが楽しめるゲームアプリが少ないという理由から、自ら開発に乗り出したものです。昨年の2月にはニューヨークで国連の基調講演も実現するなど、若宮さんのご活躍はどんどん広がっています。そのご活躍はブログで拝見できます。



あの「Excel」でこんな文様が！
様々な文様を手芸に生かして、
世界にたった一つのうちわや
バッグなどの雑貨や文房具を
創ることができます。
(「Excel Art Museum」より)

——「創造的」に生きる！「人間力」を磨く！——

そんな若宮さんの創造的な生き方の原動力は何なのでしょう。

私は、若宮さんの講演を通して、若宮さんの創造的な生き方の原動力は「知的好奇心」であり、それを支えているのが「学び続ける力」だと感じています。若宮さんは、社会の様々なことに興味・関心を持ち、そこから新たな価値を創造していますが、その過程で新たな学びに挑戦したり、学びを深めたりすることでその実現を可能にしています。これからの社会では、「知的好奇心」と「学び続ける力」をベースに、自ら考え、新たな何かを創り出す力、「創造力」がこれまで以上に必要になります。なぜならば、創造することこそが、人工知能(AI)にはできない「最も人間的な活動」だからです。

若宮さんは、これからは、人工知能と人間とが二人三脚で生きていく時代であり、その時代を生きていくためには、「人間力」が必要であるとおっしゃっています。若宮さんがおっしゃる「人間力」とは、社会に生きる一人として、そして、自立した一人の人間として、力強く生きていくための総合的な力であり、周囲の環境とのバランスをとることができる力でもあります。そのために、様々な人とのつながりを大切にすること、本を読んだり、芸術や自然と親しんだり、自分だけの世界を持つことにも言及しています。

私は、市高生の皆さんにも、生涯にわたって「創造的」であり、「人間力」を磨き続けてほしいと思っています。ぜひ広い視野を持って日常

や社会を眺め、さらに様々な視点から見つめたり、とらえたりすることを大切にしてください。今まで気づけなかったたくさんのことに気づくはずですよ。その新たな気づきや新たなニーズの発見が、新たな価値の創造につながります。そして、学び続け、様々な経験や人とのつながりを大切にすることで、自分の世界をどんどん豊かにしていきましょう。

皆さんには、無限の可能性があります。まずは、思い描き、やってみることです。その積み重ねが、社会の中核たる人材としての活躍、持っている力を存分に発揮できる生き生きとした人生に必ずつながります。

電腦ひなまつり 2019

若宮さんが理事を務めるブロードバンドスクール協会では、本校からも近い都筑区加賀原で青少年を対象に様々な取組をしています。今回は、その一つ「電腦ひなまつり 2019」についてご案内します。

- 1 日時 3月3日(日) 13時~15時
- 2 会場 シンフォニックプラザ 2階
(都筑区加賀原 1-24)
- 3 会費 100円(予定)
- 4 内容 ひなまつりランチ
遠隔交流



遠隔交流では、福岡や海外のお友だちとスマホをとおして交流。若宮さんも福岡会場からビデオチャットで出演します。

貴重な機会です。新たな世界にチャレンジしてみませんか。

詳しくは事務局まで。

E-Mail : kondo-noriko@nifty.com

「平成 30 年度 神奈川県高等学校総合文化祭」が開幕

(県高等学校文化連盟マスコット「かもえもん」)



昨年の10月に「文化の歴史を波に乗せ 潮風を紡ぐ新たな記憶」をテーマに開幕した「平成30年度 神奈川県高等学校総合文化祭」が、1月13日(日)の総合閉会式をもって全ての日程を終了しました。今年度は、神奈川県高等学校文化連盟30周年の記念の年でもあります。この間、総勢3万人を超える高校生が26専門部会の大会で演奏や発表、競技、展示に取り組んできました。

運営にあたっては、関係教職員からなる実行委員会の他に、加盟専門部会と加盟校の代表生徒で構成される生徒委員会があります。本校からも、書道部の小野島瑠那さんと中嶋咲さん(ともに1年生)が生徒委員として活躍しました。

総合閉会式では、各部門で優秀な成績を収めた生徒への表彰が行われ、書道部門では、今年も本校生徒が教育長賞を受賞しました。本校の受賞者は次のとおりです。

◆本校の文化部が2部門で受賞(敬称略)

【書道部門】(第55回高等学校書道展) 教育長賞: 船木加奈子(2年) / 専門部会長賞: 瀬尾涼乃(2年)

【軽音楽部門】 専門部会長賞: 軽音楽部 LAZER「brain」 / Yellow Hedgehog「偽り」